

凡 例

一、本書では、F. O. アダムズの報告書 *Report by Mr. Adams, Secretary to Her Majesty's Legation in Japan, on the Central Silk Districts of Japan.* (August 9, 1869) を「第1次報告書」とし、*Further Report from Mr. Adams, Secretary to Her Majesty's Legation in Japan, on Silk Culture in Japan.* (January 21, 1870) を「第2次報告書」、*Third Report by Mr. Adams on Silk Culture in Japan, dated August 10, 1870.* (September 5, 1870) を「第3次報告書」、そして *Report by Mr. Adams on the Deterioration of Japanese Silk.* (April 21, 1871) を「第4次報告書」とした。これら報告書の原本の所収は英国外務省文書 FO46 (Foreign Office: Political and other Departments: General Correspondence before 1906, Japan) である。

また、P. ブリュナ、J. ディヴィソン、E. ピケの3名連名による報告書 *Mémoire sur la Sériciculture Japonaise dans les Provinces Centrales de l'Île de Nippon.* (Septembre 4 1869) を「ブリュナらの報告書」とした。

一、翻訳にあたり原文中の人名等の固有名詞及び翻訳が困難な部分についてはアルファベットを記載、または併記した。

原文中の注釈は「原注 (1)、(2) …」として本文中の各章末に記載し、訳注は同一ページ内に脚注として記載した。

一、「I アダムズの報告書」の翻訳は岡野雅枝が担当した。

なお、第3次報告書のうち添付資料1及び添付資料2については、英文を和訳するのではなく英文の原典となった『太政類典 第一編 慶応3年～明治4年 第九十四巻』の「養蚕方法藩県へ下問ス」及び「養蚕試験方法書頒布」から転載した。

一、「II ブリュナらの報告書」の原文はクリスチャン・ポラック氏 *Monsieur Christian Polak* より提供を受けたものである。翻訳はユエット・ロラン氏 *Monsieur Huet Roland* に依頼し、補訳及び訳注は結城雅則が担当した。

一、「III 考察編」は、今井幹夫が担当した。

一、「IV 資料編」には、アダムズの第1次報告書から第4次報告書までとブリュナらの報告書の原文を所収した。

原文中の注釈は本文中の各章末に記載し、誤植等の綴り間違いと思われる部分については同一ページ内の脚注で注記した。

なお、アダムズ報告書の原文に関しては、日本語の地名等固有名詞に付けられたアクセント等を示すための綴り字記号は省略した。

また、添付資料の挿絵・地図等は、訳文中に掲載済であるため、原文中では省略した。